

佐々木俊郎 ささき としろう 小説家。明治二十二年四月十四日宮城県生乳、
昭和八年二月十二日没（一九〇一—三）。本名佐々木熊吉。別名佐々木俊郎、
佐々木俊郎。鐵道員、代用教員等を経て新潮社入社。雑誌『文章偵察
部』、『文學時代』の編輯に從事し、傍ら豊後文藝會、新興藝術俱樂部
部等に加はり創作活動。

著書『續プロ作家最近傑作選集』（佐々木俊郎名、合著・山崎今朝彌編、
大正十五年十一月二十日解放社「解放群書」）、『熊の出る開墾地』
（昭和五年二月）『八十八日大人社「現代暴露文學選集」』、『黒い地帯』
（昭和五年四月）『新潮社「新興藝術派叢書」』、『雑誌の編輯』（合
著・「綜合デパートナリズム講座」編輯部編、昭和七年二月十八日内外
社）、『狼群』（昭和八年四月）『五日、再刊・十一年二月十八日新
潮社「新作探偵小説全集」』、『恐怖城（探偵小説篇）』（昭和十
一年十一月十日春陽堂書店「日本小説文庫」）、『熊の出る開墾地』（昭
和十五年九月十日新潮社「新潮文庫」）等。